

PTA 講演会まとめ

四日市市立大池中学校
文化教養部部長 伊藤大史

5 月 23 日(金)、KDDI 認定講師 竹嶋幹雄先生による「スマホ・ケータイ安全教室」を開催いたしました。

平日の金曜日で 6 限目ということもあり保護者の皆様におかれましてはご都合の合わせにくい日だったとは思いますが、その中でもご参加いただきありがとうございました。

中学生になり携帯を持った子、親の携帯で LINE を始めた子が多い中トラブルに巻き込まれる前に学習して欲しいという思いからの開催となりました。

講演会のテーマといたしまして、子どもたちの身近に実際に起こったトラブルや事件の事例をもとにその原因や対策について考えるというものです。

様々なトラブルがある中で「SNS で写真の無断投稿によるトラブル」「ネット依存症の怖さ」「SNS 上での出会いによる犯罪」の 3 つの内容にしぼった講演で、動画を見ながらわかりやすく楽しく学べる有意義な時間になったのではないかと考えております。

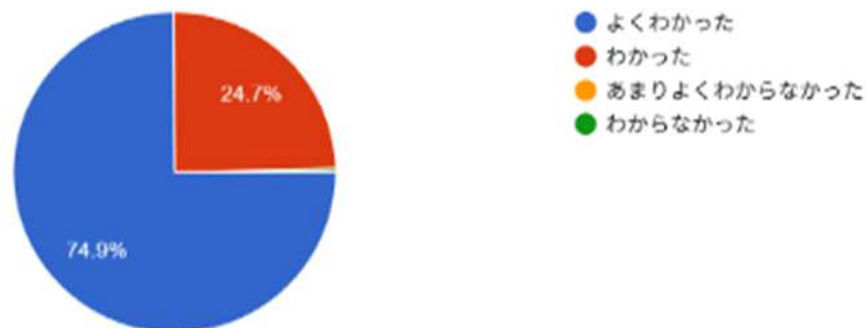


以下に生徒と保護者の感想をまとめましたのでご確認ください。

1. 今日話を聞いて、初めて知ったこと

- ・簡単に特定ができること
- ・一度投稿した動画・写真は投稿主が消しても、他人が保存している可能性があるため、世に残るといことが分かった

今日の講演の内容は
263 件の回答



- ・軽い気持ちで投稿したことも、大きな問題につながる可能性があることが分かりました。
- ・自分の想像の件数(トラブル等)の二倍近くこの世で SNS 等のトラブルが起きていることの実
- ・簡単にスマホ(ゲーム)依存になってしまうこと
- ・一回の心の落ち込みから人生のすべてを失いかけてしまうこと
- ・知らない人には、どれだけ仲良くなっても、絶対に個人情報や顔写真は送っちゃ駄目ってこと
- ・一度ネットに挙げたものは、すべて消すことが難しいということ。
- ・毎年講演する意味を知った。
- ・指一つで基本何でもできてしまうというのは意識できていなかったポイントでした。また、犯罪などに巻き込まれている人は、私たちと同じくらいの年齢が多いと初めて知りました。
- ・弱いところにつけこんで油断させるような SNS の使い方をする悪い人もいること。
- ・日頃のストレスの発散場所が SNS になってしまい、依存してしまうということ
- ・朝起きてすぐと寝る前にスマホをいじってしまっていたら、それはもうスマホ依存症になりかけてしまっているということ。
- ・ゲームをやりすぎると、勉強や部活が集中できなくなること。
- ・スマホ依存症はすごく危険で、あんまりひどいと、健康でも入院しなければならない場合があるのを、初めて知りました。

2、自分のスマホの使い方、改善した方がいいと思ったこと

- ・スマホの見過ぎやいじりすぎ自分が感じていないだけで、視力の低下・依存症にも繋がっている事が分かったから1つ1つの行動を改善していきたい。
- ・親からの時間制限に反発しようとしていたことを改善していきたい。
- ・スマホ依存の動画のように、使う時間を長くすると抜け出せなくなってしまう、私も無意識に触っていたり、使用時間が長くなってしまう時があるので、そこを改善したいです。
- ・LINE のプロフィールなどに友達との写真を許可なしで載せてはいけないと思いました。

- ・毎日スマホを使う時間を減らす。
- ・インスタなどに投稿するときは個人情報などを載せたりしないでラインを送るときなどは一度考えたいと思いました。
- ・歩きスマホは絶対にしない。
- ・寝る前までスマホを見てしまっていたり、スマホ依存症のチェック項目に当てはまるものが多数あったので、少しずつ改善していきたいと思いました。
- ・変なサイトがあってすぐ開かずに親などに聞くことを改善する。
- ・その情報が正確か自分で見極めること。
- ・勝手に色々送ってはいけないんだなと思いました。
- ・ネットもよく使うけどネットに夢中になりすぎて家族との時間などが減ってしまっているのもスマホを使う時間を減らしていきたい。
- ・知らない人とは連絡しない。
- ・すぐにSNSに投稿しない。
- ・スマホに時間を使わずに家族と休日を過ごしたりする。
- ・自分がしようとしていることが正しいか考えてからする。
- ・甘い話に乗らないこと。
- ・どんなに仲のいい友達でも、ラインなどで話すときは何も考えずに文字を打たないで、少し考えるようにした方がいいと思いました。
- ・今まで以上に個人情報や知らない人からのメッセージには騙されないように気を引き締めていくことを心がけたい。
- ・自分に何か利益のあるような広告が出てきても開かないこと。ゲームに熱中しすぎないようにすること。動画などを作成してみたいという気持ちもあるのでその画像は使っていいか見分けをつけられるようにすること。

3、今後はどのようにスマホを使っていきたいか

- ・自分で時間を決めて、いいこと、悪いことをしっかりと判断していきたいと感じた。
- ・宿題を終わらすのができなくなるほど使いすぎないように、「現実>スマホ」の状態を使っていきたい。
- ・コメントなどで相手を傷つけるようなことを言わない。
- ・目のためにも夜にはあまり使わないようにしていきたいです。ショート動画やインスタをなんとなく見るのではなく、何時までと決めて節度ある使用をしていきたいです。
- ・スマホは指先一本で何でもできてしまうので、自分のために、それは本当に正しい行動なのかに気を付けてスマホを上手に使いたい。
- ・相手が嫌な思いをしないようにこれからSNSを使う機会があったら相手の気持ちを考えて行動する。
- ・スマホには怖いことがたくさんあるのでむやみにネットにあげたりしないことだと思った。
- ・家のタブレットでラインは使っているので、写真など送るときは個人情報がついていないか確認したり、広げないように徹底したりして使っていきたい。
- ・私はスマホばかり見てしまうことが多いので、見すぎないようにすること、イライラしたときは感情に任せるのではなく、いったんスマホから手を放して、冷静になることに気を付けて、スマホを使おうと思いました。
- ・自分の生活、健康に支障がでないように自分でしっかりと判断し管理していきたい。

- ・今後はスマホ依存にならないために、「夜9時以降は使わない」や、「遊べるときは友達と遊ぶ」などして、スマホから離れる時間を作っていきたいです。
- ・スマホなどインターネットを使いすぎないようによく考えて使いたいです。使いすぎると依存症になったり、いつの間にかタップ一つで自分の情報がばれてしまったり、脅されたり、加害者にもなってしまうかもしれないので、なにかする前にこれは本当にしていいことなのかなど、よく気を付けて使いたいです。
- ・スマホの使用時間の制限がなくても自分でやめられるように自分のスマホの使用時間などに気に使用したいと思いました。中学生でも罪を犯してしまうことはあるということを知ったので気を付けたいです。特に今は使っていないインスタグラム(Instagram)やティックトック(TikTok)など、世界とつながれるアプリはこれから使っていくと思うので写真などをあげるときにはそれは本当に載せてもいい写真なのか、確認しようと思います。
- ・ネットを使うときは個人情報や推測できるような情報は一切出さないようよく考えて使っていきたい。

4、保護者の感想

- ・親が注意してもなかなか難しいですが、なぜマナーやルールを守る必要があるのかを専門の方から話してもらうことで子供自身気がつくことがあると思った。
- ・自分で責任が持てるようになってから持たせるべきではないか。
- ・もっと保護者も参加して子供と一緒に見直していけたらいいと思う。
- ・トラブルの話を聞き、スマホを使うことの責任を子供も感じたのではと思った。
- ・インターネットは便利で身近なもので使う場面が多いので1年に1回はこのような講演会をきいて自分自身のスマホの使い方を振り返る貴重な機会になっていると思います。

